

令和7年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会

いいぬ うどうん
上之御殿エリアの整備について

- 0. 上之御殿エリア整備における確認事項
- 1. 東側擁壁について
- 2. 北側擁壁について
- 3. 旧石階段について

0. 上之御殿エリア整備における確認事項

- 上之御殿エリアは、中城御殿の敷地内部でも石積や石階段等の遺構が確認されていることから、遺構を活用した整備を行っている。整備を進めるなかで新たな遺構も確認されていることを踏まえ、以下の事項について確認したい。



2. 北側擁壁について

- ・ 新たな遺構を確認したことを踏まえ、今後の方針を確認【p 4】

1 - 1. 東側擁壁の積み方について

- ・ 過年度委員会の指摘を踏まえ、遺構を活かす施工方法を確認【p 2】

1 - 2. 東側擁壁について

- ・ 新たな遺構（根石）を確認したことを踏まえ、今後の方針を確認【p 3】

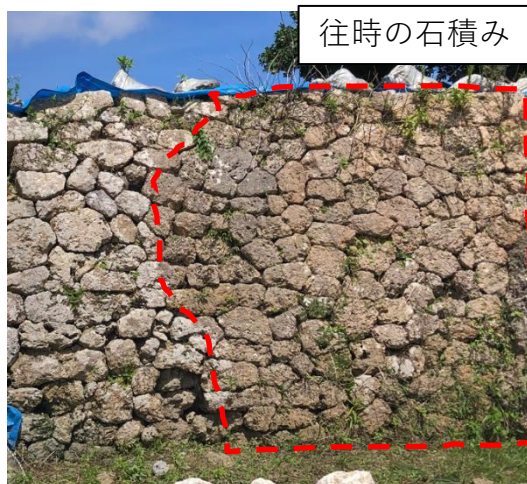
3. 旧石階段について

- ・ 石階段の遺構は非常に状態がよく、遺構を活用した整備を行うところだが、修復方法を確認【p 5】

上之御殿エリア整備イメージ

1 - 1. 東側擁壁について（石積み施工方法）

（現場にて確認）東側擁壁について、見本積みにて確認を実施。



○東側擁壁（施工案B）

➤往時の積み方を参考とし、要所に細長い形状を配置し、大きさは見本より小さめとする。

施工案A



施工案B



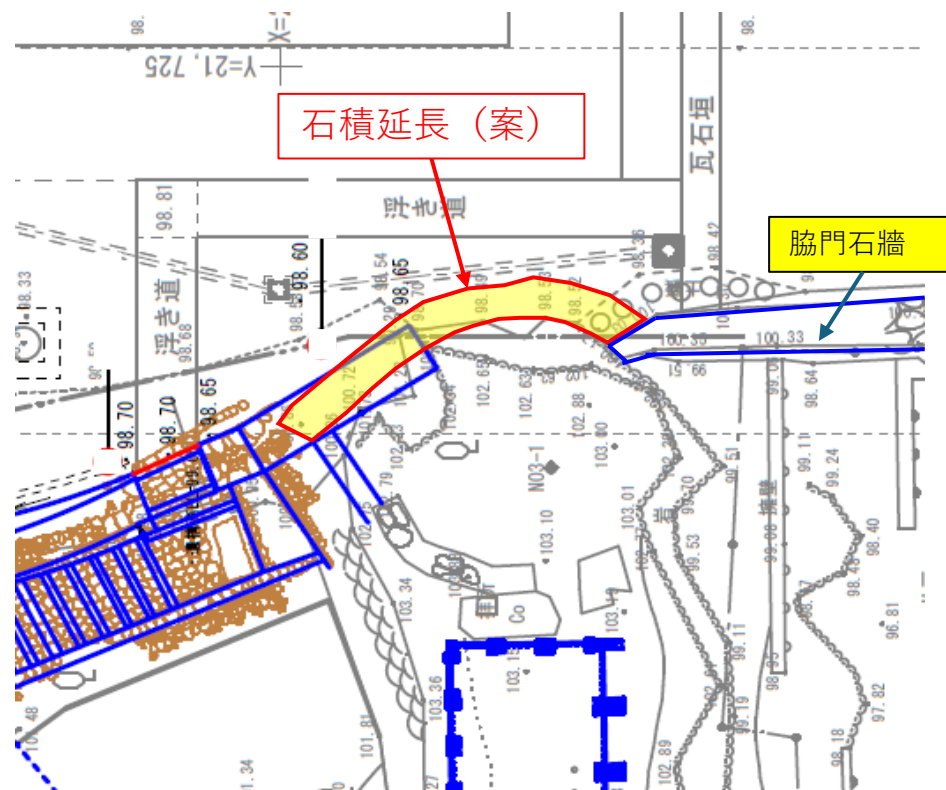
1 - 2. 東側擁壁について（新たな遺構を考慮した整備方針）

（現場調査の結果）

○新たに遺構が出現。東側擁壁から石階段より南側まで連続している。



未調査箇所の掘削を行い、遺構が確認され設計法線より1～2 m前面に移動変更が必要。



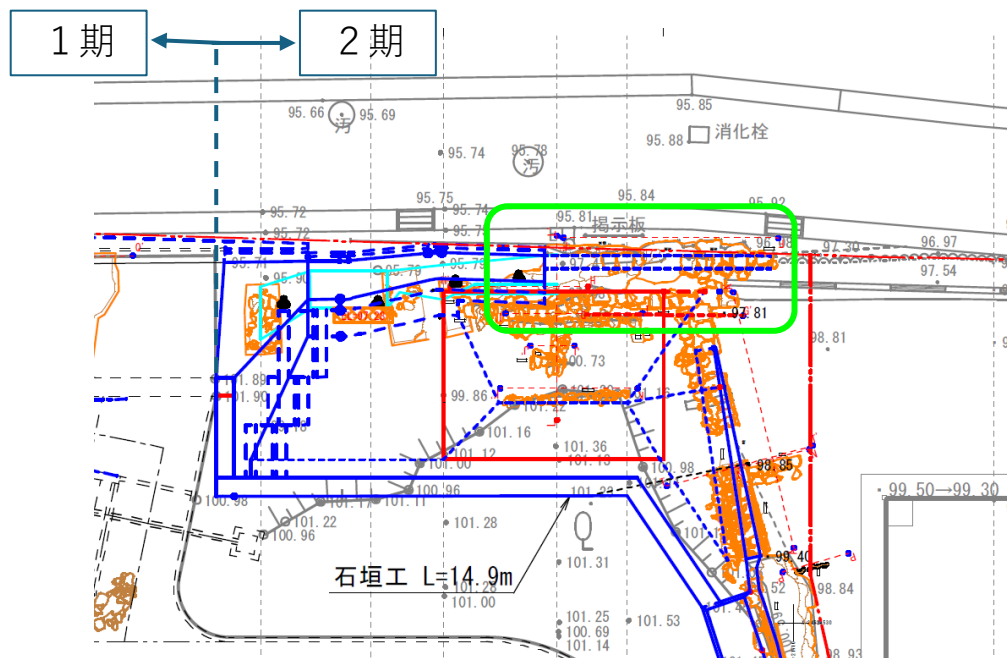
（計画（変更案））

○新たな遺構を考慮した法線の確認。脇門石牆まで石積を延長する。
（延長部分の地下遺構状況を確認し、遺構に沿った聖地とする。）

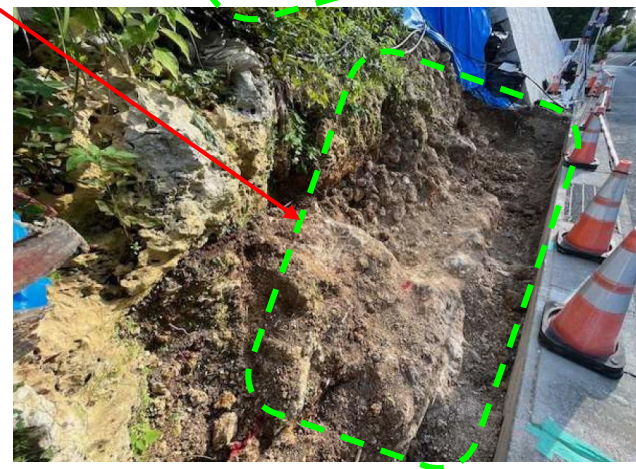
2. 北側擁壁について

(報告)

○北側擁壁について、新たに遺構（1 m程の大きな根石）が見つかった。



根石



(計画(変更案))

○現在、施工方法を検討中。

3. 旧石階段について

(確認事項)

- 階段について、遺構の状態が良いため遺構を活かす（見せる）検討を行う。
- 斜めになっている箇所・隙間が大きい箇所については積み直す。

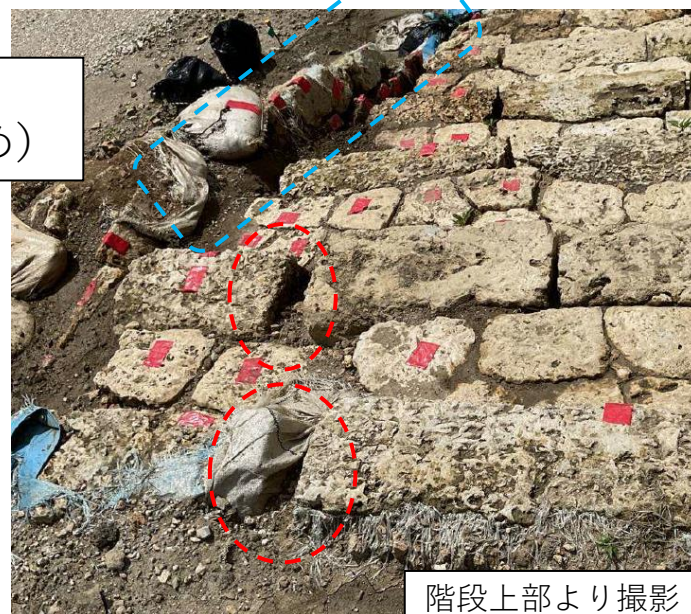


○ : 隙間
□ : ずれ（斜め）

(計画案)

- 必要最低限の範囲を選定
 - ①. 階段部分、既存に合わせてズレ等を修復する。
 - ②. 隙間が大きい箇所・劣化箇所は、新材を加工する。
（隙間の修復材は検討中。）

※階段手摺設置の有無について検討。



階段上部より撮影